

「市の財政状況と経営改革」住民説明会会議録

1 会議の名称	「市の財政状況と経営改革」住民説明会
2 開催日時	平成 26 年 10 月 24 日（金） 19 時 00 分～21 時 20 分
3 開催場所	飯野コミュニティセンター
4 審議等事項	持続可能な行政運営に向けて
5 出席者名	（説明員）佐久間市長、高橋副市長、小泉総務部長、 刈込企画財政部長 （事務局）小柴行政管理課長、重城財政課長 （司会）笹生総務課長
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 （理由）
8 傍聴人数	173 人（定員 人）
9 所管課	総務部行政管理課行革推進係 電話 0439-80-1211
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

「市の財政状況と経営改革」に係る住民説明会会議録

発言者	発言内容
総務課長	<p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は、夜分お疲れのところ、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただ今から市の財政状況と経営改革に係る住民説明会を開催させていただきます。</p> <p>今回の説明会につきましては、先の新聞・テレビ等の報道につきまして、改めて市民の皆さまにお伝えすることを目的として、小学校単位 11 地域で開催するものでございます。</p> <p>また、開催に当たりましては、地元の区長さんや役員さんには、期間のないなか、会場の手配や、回覧等に特段のご配慮いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>次に、説明の前に本日の説明員の紹介をさせていただきます。</p> <p>始めに、市長の佐久間清治でございます。</p> <p>副市長の高橋恭市でございます。</p> <p>経営改革等を主管する総務部長の小泉義行でございます。</p> <p>財政運営等を主管する企画財政部長の刈込幹夫でございます。</p> <p>申し遅れましたが、本日の司会進行を務めます総務課の笹生と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>次に、説明資料がお手元にあるかご確認ください。大丈夫でしょうか？</p> <p>最後になりますけれども、ご質問につきましては、市長以下説明員の説明の後にお受けしたいと思っておりますので、あらかじめご了解をお願い申し上げます。</p> <p>なお、説明を含め、一応の終了の時刻の目安を午後9時とさせていただきたいと存じますが、状況により変更をさせていただきたいと考えております。</p> <p>それでは、始めに市長からご説明申し上げます。</p>
市長	<p>皆さん、こんばんは。</p> <p>夜分、お疲れのところ、また、本来であればお寛ぎの時間かと思えますけれども、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>進行から話がありましたように、この度、富津市の財政状況につきまして、新聞やテレビ、そして、インターネットの記事等を通しまして、住民の皆さん方に、大変なご不安とご心配をおかけいたしましたことにつきまして、改めて説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>座って説明させていただきます。</p> <p>まず、皆さま方に正確にお知らせしなければならないことは、富津市は、これまで赤字を一度も出したことはございませんし、また現在、赤字になっているわけではありません。</p> <p>また、破たんもさせません。</p> <p>今回、記者発表させていただきましたのは、このまま何もせずに行行政運営を続けていくと、財政状況は赤字になり、5年後に財政破たんし</p>

てしまう可能性があるということでございます。

富津市では、これまで安全・安心のための事業を優先して行ってきたこと、また、年々増加する社会保障費、また、税収の減少などによりまして収支不足が見込まれるなかでその財源不足を補うため、市の貯金であります財政調整基金を取り崩して参りました。

富津市の財政状況がこれまでと大きく違うのは、この財政調整基金が底をつき、平成 27 年度以降の赤字決算が現実のものとなったことであります。

お手元に配布いたしました資料中段左の「収支見込みのポイント」をご覧ください。

このままでいきますと、平成 27 年度から 31 年度までの 5 年間の財源不足額は 28 億円、平成 30 年度には積み重なった赤字額が 22 億円となり、財政再生団体となる可能性のある極めて厳しい見込みであります。

財源不足を補うための財政調整基金残高は、わずか 2 億円ということでございます。

現在、赤字になっているわけではありませんが、しかし、従前の財政収支改善策や、単年度の予算査定を中心とした歳出削減などの取り組みだけでは、この状況を克服することは困難であります。

そのために、これまでの財政運営だけに目を向けた改革ではなく、行政運営全体を見直す経営改革を断行するものであります。

次に、資料最下段の四角枠、経営改革内容をご覧ください。

これまで皆さんからお問い合わせをいただいておりますが、基本的に住民サービスは適正に維持して参ります。

まず、「①将来に向けての財政基準の作成及び実行」ですが、ここにお示ししました取組みを中心とした経営改革のための具体的なプランを策定するとともに、これまで財政調整基金を取り崩して財源としてきた富津市の財政運営を反省し、当該年度の歳入をもって歳出を賄うなど財政規律を厳格化して参りたいと考えております。

次に、「②公共施設の見直し」ですが、現在の危機的な財政状況を招いた大きな要因は、多くの公共施設を建設する際に、財源とした起債の償還額とその維持管理費の増大にあるといえます。市として真に必要な施設だけを将来世代に良好な状態で残し、それ以外の利用度の低い施設、あるいは、維持管理費の高い施設などは、売却、あるいは、広域化などを積極的に進めて参りたいと考えております。

次に、「③事務事業の聖域なき抜本的な見直し」、「1 税収の確保」ですが、今後、税収の増加が見込まれない状況のなか、引き続き、滞納処分により税負担の公平性の確保をして参りたいと考えております。

「2 職員数の削減」ですが、現在の危機的な財政状況を回避するには、まず、内部経費を削減することに全力を尽くさなければなりません。歳出の大きな部分を占めます「人件費」の割合を削減することは当然であり、職員数の大幅な削減を実行して参りたいと考えております。

「3 行政サービスの見直し」であります。サービス水準を維持しながら、公共として将来にわたって提供すべきサービスの範囲はどこまでか、あらためて考える時期に来ていると考えます。民間に任せるべき事務も多くなってきておりますし、サービス提供のあり方は多様化しておりますので、公共の直接行うべき範囲、民間に委ねるべき範囲を考えあわせ見直していきたいと考えております。

「4 受益者負担の見直し」ですが、行政が、特定の方を対象とし、サービスの給付をする場合、無料ないし過度に低廉な料金で提供することは、公平性の観点から望ましいものではないと考えられます。行政サービスのコスト負担について、どこまでを「受益者負担」とするのか、見直して参りたいと考えております。

「5 民間活力の活用」ですが、行政サービスを受ける住民の皆さんにとっては、サービスの質が保証されることが一番重要であり、それが担保されれば、民間が供給する方が効率的である場合が多く見受けられます。行政サービスのなかでも、民営化・民間委託化が可能な分野は、費用対効果を考慮し、積極的に推進し、効率的なサービス提供を図って参りたいと考えております。

次に、資料下段右の「富津市経営改革会議」をご覧ください。

ただ今申し上げました、これら経営改革の内容を話し合うため、有識者で構成する「富津市経営改革会議」を設置いたしました。

今月 31 日の第 1 回会議をはじめといたしまして、議論していただくことになっております。

最後に、この経営改革につきましては、私が先頭に立ち、職員一丸となって断行して参ります。

皆さま方の更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。説明とさせていただきます。

次に、資料はございませんけれども、これまでの説明会での主な質疑内容につきまして、ご報告をいたします。

まず、今回の報告関係につきまして、「どうして夕張市と同じや破たんの報道が出たのか」、ということでございますけれども、先ほど申し上げましたとおり、財政調整基金残高が、底をついたことから、3 か月ごとに開催しております定例記者会見を 8 月 29 日に開催したわけですが、そこにおきまして、経営改革の取り組みのなかで、中期収支見込みを発表いたしました。

この説明では夕張のようになります、破たんしますというような記者発表をしたわけではございません。このまま何もしなければ、5 年後には財政再生団体のレベルに達してしまうので、今の段階で抜本的な改革を実行すると発表いたしました。その際、財政再生団体の説明で、夕張市を例にしてお話ししたことは事実でございます。これが報道機関によりまして特別にクローズアップされたところでございます。

次に、「イメージダウン回復の戦略」ということでございますが、当たり前のことですが、できるだけ早く財源不足を解消し、そのことを住民の皆さんにお知らせできるよう、経営改革を断行して参ります。この間につきましても、改善状況をお知らせして参ります。

次に、財政状況について、「身の丈にあったというのはどういう意味か」ということですが、歳入の一般財源の規模をもって、すべての経費を賄うということであり、具体的には、中期収支見込みで見込んだ一般財源 110 億円程度を見込んでおります。

次に、「固定資産税が減少するのはわかっていたのではないか」「計画の段階で先が見えなかったのか」ということご質問でございます。これまで市では 5 か年計画をはじめとして、さまざまな計画を策定して参りました。その間リーマンショックや東日本大震災、障害者自立支援法など国の制度の相次ぐ見直し等の特殊要因があったにせよ、その計画が結果的に過大であったことは、真摯に反省しております。

次に、「市税の滞納額も財政悪化の要因では、徴収を強化すべきではないか」ということですが、今までも増して、滞納処分を強化して参ります。公平性を確保したいということでございます。

次に、「国保などの社会保障費の増加は県や市町村の問題ではなく、国への提言を怠っているのではないか」ということですが、これにつきましては、全国市長会などをおし、強く申し出をしております。

次に、経営改革関係につきまして「経営改革での具体的な見直し対象は」ということですが、普通建設事業費のうち未着手事業につきましては、例外なく見直しをします。また、着手済みの事業につきましても、その効果を再検討し、見直しをして参ります。

職員数は、抜本的にスリム化いたします。

公共施設は、適正な水準に保ちます。

財政状況が厳しいからと言って、介護、国保のような法定サービスは安定した状態で運営を行います。

個人の市民税・固定資産税などの普通税を引き上げるようなことは当然ながらいたしません。

次に、「学校統廃合にこれだけ時間を要している状況で、経営改革を短期間で断行できるのか、全てをゼロベースで見直さなければならない」というご質問でございます。関豊小、環小が来年度から合併になります。市側の意見だけでは進められませんけれども、教育委員会・教育部で計画を進めております。他の学校につきましても、順次地元の意見をお聞きしながら、進めていきたいと考えております。

また、経営改革は短期的なもの、中・長期的なものとは区別して進める必要があります。経営改革会議はこれら市の考え方を提示いたしまして意見をもらうかたちとなります。

次に、「改革にあたっての削減目標額は」ということですが、来年度予算で 3 億円の赤字を解消する、最終的に、今後 5 年間で 28 億円の赤字を解消するとともに、災害等に備え、できるだけ財政調整金を積み増しして参ります。

次に、「どんな事業をやめるのかははっきり示してほしい」ということですが、経営改革プランを作成するなかで、また、経営改革会議で議論していただき、示していきたいと考えております。

	<p>次に、「特別職報酬と一般職の給与削減は実施しないのか」ということ とでございますが、現在私が 15%、副市長が 14%、教育長が 13%の報 酬削減、また一般職は 4%の給与削減などを実施しておりますけれど も、特別職につきましては、更なる見直しを実施して参りたいと考 えております。</p> <p>次に、「震災時の状況から、職員数削減以前に事務事業の見直しを優 先すべきではないか」ということとでございます。当然、事務事業の見 直しは実行して参りますが、並行して我々が標準と考える職員数まで 削減を実行していきます。</p> <p>次に、「経営改革会議はどのような人で何名か」というご質問でご ざいます。国地方行政経験がある、また会計制度に精通した大学教授 2 人、公認会計士 1 人、会社社長 1 人、県行政に精通した県庁職員 O B 1 人の計 5 人でございます。本日ホームページ上で公表いたしました。</p> <p>次に、「経営改革会議委員に市民を入れないのはなぜか」ということ とでございますが、客観的な視点から富津市の状況について議論して いただくことを考えまして、今回は外部有識者の、ただ今申し上げまし た大学教授をはじめとする、委員構成といたしました。</p> <p>次に、その他についてでございますが、「議会の取り組みは」という こととご質問がございます。これにつきましては、執行部とは別に、 議会自ら、いろいろな角度からの改革を検討されているとお聞きして おります。</p> <p>次に、「市民との対話の機会が少ない」ということとでございます。こ れにつきましては、過去、対話集会を何度か実施いたしました。今後 も、他のテーマを含めまして、機会を作って進めていきたいと考えて おります。</p> <p>次に、「市長の決意表明」ということとでございますが、現在の財政状 況を回復させることが私の使命であります。私の任期中できるだけ早 く住民の皆さんにより報告ができるよう、経営改革を断行して参りま す。</p> <p>破綻はさせません。 以上で、今までの説明会での質疑内容を報告させていただきました。 よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>補足説明を副市長及び両部長からご説明申し上げます。</p>
<p>総務課長</p>	
<p>副市長</p>	<p>皆さまこんばんは。</p> <p>本日は、大変お忙しいところ、また、お仕事等お疲れのところ、こ のように大勢の皆さまにお集まりいただきまして、誠にありがとう ございます。</p> <p>また、会場後ろの、廊下に立ちの皆さまに関しましては、大変ご迷 惑をおかけしますが、お許しをいただきたいと思ひます。</p> <p>また、お集まりの皆さん全員に、今回私どもが発表しました、記者 会見の内容について、夕張・破たんという報道がされ、この言葉が、 皆さまに、大変なご心配をおかけしましたことを、心からお詫びを申</p>

<p>企画財政部長</p>	<p>上げたいと思います。</p> <p>大変失礼ですが、私も座らせて説明させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>ただ今、市長が申しあげました経営改革の取り組みにつきましては、市長の命を受けまして、私の指示により、市役所全庁を挙げ、既に取り組みを始めさせていただいております。市役所内部に関することにつきましては、あらゆる事務事業を広い視野と、可能性を諦めることなく、見直し、確認することを指示いたしますとともに、職員の提案や意見も取り入れ、作業に入らせていただいております。また、今後につきましては、31 日に開催されます、経営改革会議のご意見を伺いながら、経営改革全般の方向性を取りまとめて参りたいと考えております。</p> <p>差し迫りまして来年度予算につきまして、できるものから即実行して参りたいと考えております。</p> <p>本日は、この後、財政状況につきましては、企画財政部長から、これまでの行政改革の取り組みにつきましては、総務部長から説明をいたしますので、お聞き取りいただきますよう、お願い申し上げます。</p> <p>皆さまにおかれましては、今後の経営改革断行にご理解、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。</p> <p>市長から「市の財政状況」につきまして説明いたしましたが、私からは「このような財政状況に至った原因」につきまして、補足させていただきます。失礼ですが着席させていただきます。</p> <p>本市では、平成 11 年度にそれ以前の事業の借入金によりまして、債務が増大したことから「財政非常事態宣言」をいたしました。</p> <p>そこで、債務を減少させ危機的な状況を回避するため、平成 11 年に「財政健全化計画」を策定し、これに基づき財政の健全化に向けて計画を実行し、その効果により債務が減少しましたことから、平成 17 年度には「財政非常事態宣言」を解除いたしまして、その後もそこで決めました、財政収支改善策を恒久的なものとして取り組んできたところでもあります。</p> <p>しかしながら、昭和 60 年から続きます生産年齢人口の減少や、長引く景気の低迷によりまして個人や法人の市民税の減収や、当市の税収の根幹であります、固定資産税の大幅な減収に加え、生活保護者の増加や、高齢化の進行によります障がい者や、介護を必要とする方々が増加いたしまして、社会保障費関係になりますが、扶助費などが、毎年増え続け、年々財政運営は厳しさを増しているところでもあります。</p> <p>このような状況のなかでありまして、歳入の減少に対応いたしました職員の定員管理を中心といたします総人件費の抑制も不十分であったこと、また、近年、財政調整基金を活用いたしまして、総合計画をはじめといたします、様々な計画に基づく事業を行ってきたところ、その計画が結果的に過大であったことも、今般の状況に至った原因と考えています。</p> <p>今回公表いたしました、来年度の財源不足は、3 億円であります。一</p>
---------------	--

<p>総務部長</p>	<p>般財源総額 110 億円に占める割合は 3%であります。これが夕張市の場合、700%となり赤字額が 7 倍ですので、夕張市とはまったく状況が異なり、比較にはなりません。</p> <p>経営改革の実行によりまして、十分回復可能な数字であることをご理解いただければと存じます。</p> <p>以上で私からの説明を終わらせていただきます。</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p> <p>私からは、今まで取り組んで参りました財政健全化対策、財政収支改善策、行財政改革につきましてご説明をさせていただきます。着座にて説明をさせていただきます。</p> <p>まず、財政健全化対策でございますが、平成 5 年度から 16 年度まで実施をして参りました。また、財政非常事態宣言を解除いたしました、平成 17 年度からは財政収支改善策を実施して参りました。</p> <p>これに並行いたしまして、行財政改革を、平成 11 年度から 15 年度までを第一次とし、平成 16 年度から 21 年度までを第二次、平成 22 年度から 24 年度までを第三次といたしまして推進をして参りました。</p> <p>まず、歳入確保策といたしましては、各種基金の設置目的に沿った処分や、未利用地の売却処分などがございます。未利用地の売却処分につきましては、現在も引き続き実行をしているところでございます。</p> <p>次に、人件費の削減といたしまして、職員数の削減、特別職の報酬カットや職員給与の昇給延伸などの抑制、手当の引下げ、議員等の定数削減や手当の見直し、学校用務員や調理場調理員の非常勤化などがございます。</p> <p>次に、維持管理費などの削減といたしまして、市営バスの廃止や、公共借地の見直しなどがございます。</p> <p>最後になりますが、補助金や交付金などの削減といたしまして、補助金等の見直しを実施して参りました。</p> <p>これらことで、総合計としまして約 117 億円の削減をいたしたところでございます。</p> <p>非常に簡単な説明ではございますが、以上で説明を終わらせていただきます。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>総務課長</p>	<p>説明は、これで終わりました。</p> <p>ただ今からご質問を受けたいと存じます。恐れ入りますが、ご質問につきましては、挙手にてお願ひいたします。順にお答えしたいと思います。ご質問でございますでしょうか。</p>
<p>(市民①-1)</p>	<p>これまでの主な質疑のなかに、普通建設事業の見直しとありましたが、館山道のバスターミナル、それに関連する道路の設置を、やらないあるいは、延期が含まれていますか。</p> <p>現在計画されている、様々な道路関係も延期等も検討されていますか。</p> <p>税収を図るということについて、どのようなことを考えていますか。</p>

<p>企画財政部長</p> <p>(市民①-2)</p>	<p>館山自動車道路、富津中央インターチェンジの南にバスストップを計画しております。道路計画につきましても、事業効果を再検証したうえで、実施の判断をしたいと考えております。</p> <p>税収の確保の具体的な取り組みにつきましては、市税滞納の処分の強化をしっかりと行っていきます。個人の市民税の徴収につきましては、事業所からの天引きという特別徴収において、確保していく考えでございます。</p> <p>差し押さえ等では、大きな効果があると思えません。</p> <p>問題は、富津市の人口をどのように増やすか、そこで税収が増えるような政策をどうするかということではないでしょうか。</p> <p>今のままの予想では、富津市自力の計画ではないでしょうか。これでは税金は増えると思いません。</p>
<p>企画財政部長</p> <p>(市民②-1)</p>	<p>人口の流出の歯止めというなかで、新富地区の企業誘致での雇用の発生、基盤整備を進めて参りましたが、人口流出の歯止めとなる有効な施策が見出せていません。いろいろ検討しているところでございます。</p> <p>富津市に住んでおられる人、もの、自然等の資源を活用し、また見直すなかで、定住策を進めて参りたいと思います。</p> <p>説明資料のなかで、「身の丈にあった行政運営」「抜本的改革」とありますが、具体策が一つもありません。</p> <p>「事務事業の聖域なき抜本的な見直し」「税収の確保」は、当たり前のことではないのですか。それがなぜできないのですか。</p> <p>抜本的改革を経営改革会議で行うとあります。いつ市民に分かりやすく説明してくれますか。それが終わった段階で、結果を教えてもらえるのですか。</p>
<p>総務部長</p> <p>(市民②-2)</p> <p>総務部長</p>	<p>経営改革会議の第 1 回目を 10 月 31 日に行います。今年度は 5 回予定しております。事務事業の見直しは、すでに進めているところもあります。考え方を示したなかで審議していただくというように考えております。具体的なものは、今後出てくると思います。そこで皆さま方にお知らせするように考えております。</p> <p>経営改革会議で決まらなければ、またこのようなことになるのではないですか。</p> <p>危惧しているのは、決めました、できませんでしたと言って、またこのようなことになるのではないかということです。</p> <p>このような状態になることが、おかしいと思います。経営改革会議で決めたことは、本当にできるのですか。</p> <p>これから進めていくということでは、回答にならないかもしれませ</p>

<p>(市民②-3)</p>	<p>んが、外部の方 5 人を選びました。外から見た考え方を取り入れ、必ず実行していきます。</p> <p>「身の丈」というなかで「職員数の削減」とあります。同規模の市と同じと聞きました。同規模というのは何ですか。職員数は、税収額で決めるべきではないですか。</p> <p>人件費の削減のなかで、市長・副市長・幹部職員・一般職員の削減という話がありましたが、甘いのではないですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>職員数の決め方は、税収額を算定の基準としていません。人口や事務事業の量で算定しております。人口は、館山市とほぼ同じです。富津市の方が多くはないかというご意見もありました。館山市と富津市の違いは、富津市は消防を単独でやっております。館山市は安房郡市の広域消防です。差し引きますとほぼ同じとなります。</p> <p>人件費についてですが、国は人事院勧告、県は人事委員会勧告で決めております。市は人事委員会がありませんので、県に準じております。決め方は、県の人事委員会のなかで、県下の企業の平均給与を調べ、県下の公務員給与を比べます。今年は、公務員給与の方が若干低いという勧告が出ています。期末・勤勉手当を上乗せする勧告が出ていますが、この状況のなかで行うか、現在協議をしております。</p>
<p>(市民②-4)</p>	<p>抽象論だけではなく、具体論を述べていただきたい。経営改革会議で決めていくということですが、そこに出すテーマを、この場で説明していただきたい。ここには精神論しか書いていない。もう少し具体的に説明してもらいたい。</p> <p>ぜひ頑張って、この富津市をよい富津市にしていきたい。お願いします。</p>
<p>(市民③-1)</p>	<p>経営改革会議の傍聴者は、定員 30 人ということですが、30 人では少ないのではないですか。インターネットの中継をお願いします。</p> <p>他の会場でも 30 人では少ないとご指摘がありました。申し訳ございません。第 1 回目は、外部の方ということもあります。資料は事前にお送りしてあります。今回の説明会の状況を説明しまして、市内の状況を把握していただく面で、市内を回ります。</p> <p>会議のなかに入れない方に、音声だけでも聞いていただくことを考えております。</p> <p>インターネット中継につきましては、情報公開条例のなかで、会議のなかで決定することになっております。市がやると言えない状況ですので、ご理解いただきたいと思っております。</p>
<p>(市民③-2)</p>	<p>経営改革会議で、必ず議題に挙げてください。</p> <p>31 日に、相談させていただきます。</p>
<p>総務部長</p>	

<p>(市民④-1)</p>	<p>今回副市長が外部から入られたことによって、市財政の危機を感じて発表されたことだと推察されます。</p> <p>中期計画は入っていますが、長期計画が入っていません。</p> <p>今まで二言目には、「富津市には金が無い。」と言われてきましたが、担当が変わる際に、確認・検証する引継ぎ簿はありますか。市のマニュアルとしては無いように思われます。引継ぎがしっかりしていないことによって、無駄金を使っているのではないですか。</p> <p>富津市で議員数が減らされたようですが、人口からすると多いように思います。今後例えば 4 市合併するに当たり、議員数が多いことによってマイナスな面が出てくると思います。議員数を半分、若しくは報酬を半分にしてもらいたい。それができないのであれば、議員数を 3 分の 2 にして、報酬も 3 分の 2 にしてもらいたい。そのような具体的なことを検討してもらいたいです。</p> <p>現職議員から何本の議案が出ていますか。</p> <p>議員の各委員会があると思いますが、分けなくてもよいと思います。一緒になって決めれば済むことで、分ける必要はないと思います。議員が減っても可能だと思います。</p> <p>職員を減らすと言っていますが、具体的に在職数といつまでに何人にすると書いてありません。具体的な数字がないと、我々は納得できませんし、ありえません。</p> <p>破産することがわかっているのであれば、もっと身近に自分たちがどうしたらよいか考えていただきたいと思います。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>中期収支見込を 5 か年で算出したところですが、長期の面でお答えします。</p> <p>例年は 3 か年で見込み、翌年度の財政運営の参考にしております。財政調整基金が少なくなるといった状況を把握したなかで、今回 5 か年としました。</p> <p>近年、制度改正の動きも早く、正確性を把握することで 5 か年が適正としました。総合計画や 5 か年計画も計画し、取り組んでおります。</p>
<p>総務部長</p>	<p>職員の引継ぎがされていないのではということですが、規程はあります。書面で引き継ぐことになっています。</p> <p>議員発議案のトータルは、数字を持ち合わせておりませんので、明確にお答えできません。ご了承ください。</p> <p>議員数、報酬また、委員会を別にする必要はないといった件につきましては、今回は、執行部の説明会ということでおじゃましました。議会でもいろいろな面で検討していると聞いております。誠に申し訳ありません。</p> <p>現在の職員数ですが、26 年 4 月 1 日現在で 508 人です。定員適正化計画というものを立てております。平成 22 年度に立て、27 年度に 500 人を目標値としています。今年度定年退職・勸奨退職含めて 40 人の予定です。来年度新規採用は、3 人で進めております。来年度は、37 人</p>

<p>(市民④-2)</p>	<p>の減となります。今後は、定年のほか勸奨も促していくことを考えております。予定では、5年後約90人の削減を考えております。</p>
<p>総務部長</p>	<p>引継ぎ簿は、上司の方が確認していますか。上司の方は、月ごとあるいは、年ごとの仕事を把握していますか。</p>
<p>(市民④-3)</p>	<p>係員が異動する場合は、次の者に引き継ぎます。人事異動は、4月に行っています。個人は、引継ぎを行います。新しくなった体制の係・課の会議で確認を行っています。</p>
<p>(市民⑤-1)</p>	<p>それを上司が把握していないから、引継ぎが、担当者によっていい加減です。私は、引継ぎがされていないことに関わっています。担当者だけの引継ぎではなく、上司が把握しなければいけないのではないのでしょうか。市役所の事務レベルが低いと思います。</p>
<p>総務部長</p>	<p>市民の皆さまの更なるご支援、協力を賜りますようお願いいたしますと書いてあります。また、行政運営に転換するため、次の改革を実行していきますともあります。中身が大きいですが、5年間で全部できますか。赤字は解消できますか。</p> <p>何の施策も書いていない。これをやったら1年間でどれだけの収益が出るというようなプロセスがないと、納得できません。</p> <p>人件費・職員数の削減は、一番簡単な方法ですが、卑怯なやり方です。人件費の削減よりも、ハード・ソフトでリスクの大きいものから、優先順位を付けて片付けていかなければならないと思います。</p> <p>結果・効果を公開できるものはしていかなければいけないと思いますが、いかかですか。</p>
<p>(市民⑤-1)</p>	<p>具体的な策については、会議のなかで出していきます。逐次お知らせしていきます。会議も公開で行います。</p>
<p>総務部長</p>	<p>人件費の削減よりも、ハード・ソフトということにつきましても、会議の委員も専門分野の方々ですので、出たもの、決めていかなければならないものは、逐次お知らせして参ります。このなかで検討していきますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
<p>(市民⑥-1)</p>	<p>会議のスパンを長くしては駄目です。継続的に進めていき、実証・効果を作り上げていかなければいけないと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>今年度3月まで5回、毎月1回というスパンで考えております。</p> <p>市長の給料はいくらですか。15%削減したと言っていました、いつから削減していますか。</p> <p>報酬は、90万円です。15%カットしていますので、76万5千円です。</p>

<p>(市民⑥-2)</p> <p>市長</p>	<p>この問題が起きてから下げたのですか。</p> <p>平成 17 年に 11%のカットを行っています。平成 26 年 4 月 1 日から 15%カットにしています。</p>
<p>(市民⑥-3)</p> <p>市長</p>	<p>総務省の役人の方が、富津市は何でこのような記者会見をするのか、今までこのような記者会見を行った市はないと言っていたと聞きました。</p> <p>市役所で人員を採るときに、コネがないと入れないと聞きました。本当ですか。</p>
<p>(市民⑥-4)</p> <p>市長</p>	<p>職員採用については、千葉県下一斉の試験を行い、その点数で行っています。その後 2 次試験の面接を考慮して行っています。</p>
<p>(市民⑥-5)</p> <p>市長</p>	<p>面接では、コネがある人は上がって、コネのない人は上がっていかないと聞きました。</p> <p>夕張や破産と言ったおかげで、金谷から君津市に引っ越したと聞きました。</p> <p>ある企業が出るのに、富津市か袖ヶ浦市か考えていたそうですが、袖ヶ浦市に行ったとも聞きました。</p> <p>佐久間市長は、支持率何%だと思いますか。</p>
<p>(市民⑦-1)</p> <p>市長</p>	<p>数字的なことは分かりません。</p>
<p>(市民⑦-2)</p> <p>市長</p>	<p>大変低いです。</p> <p>富津中学のドームについては、皆さん怒っています。国からは、10 億でやりなさいと聞きました。それを 20 億もかけてやらなくてもいいと思いました。</p> <p>市民は大変なんです。もう少しきちんとやってください。</p>
<p>(市民⑦-3)</p> <p>市長</p>	<p>人件費削減のなかで、議員定数の削減を議会で決めて削減したいということでしたが、市長が、どのくらい削減するかお聞かせください。</p> <p>私の方で、職員の関係は行っていますが、議員の定数の関係については、こちらで検討しておりません。また、議会の方がどういう考え方をお持ちかは、参考になるのかと思います。</p>
<p>(市民⑦-4)</p> <p>市長</p>	<p>議会のときに、市長の考えで議員定数を決めないということですか。市長の考えは、どのくらい削減できるかお聞きしたい。</p> <p>今まで、議員定数の変更については、議員発議で行っていますので、そのようになると思います。</p> <p>私の方から、定数に関しての考えは、今は持っていません。</p>

<p>(市民⑦-3)</p>	<p>このまま議会で定数を削減しないということになれば、それでお 断るのですか。 市長の考えは、今財政危機だからいくら減らすということは言え ないということですね。</p>
<p>市長</p>	<p>議会の方で、議会改革ということで、検討されていると聞いていま す。定数の関係もあるかもしれません。</p>
<p>(市民⑦-4)</p>	<p>報酬も議会で決まらなければ、今までどおりとなってしまいますよ ね。現状 15%カットでいるということになりますよね。</p>
<p>市長</p>	<p>私が今 15%カットです。私の方は、それ以上のカットを考えている ところです。</p>
<p>(市民⑧-1)</p>	<p>ネット中継は、公開条例があるからできないということでしたが、 行政で改正し、市議会で可決されれば変えることはできますか。変 えることができるのであれば、10月31日前に臨時議会を開き、変えれば ネット中継ができると思います。本気で富津市を変えるのであれば、 公開条例を変えて、市民に広く広めるようにしてください。 今年度 40 人退職するということですが、40 人で来年度 3 億円の赤字 ということですか。 区長報酬が高いということで、調べました。区長設置に関する規則 では、区長は富津市に 107 人いるということで、基本報酬が 15 万 5 千 円、その他 1 世帯当たり 1,200 円の付帯報酬が付くとなっています。 付帯報酬が付く理由が分からないので、教えてください。付帯報酬が なくなれば、経費削減になるので、検討されてはどうでしょうか。 対話集会をやるということですが、経営改革会議の前にやるという ことですか。経営改革会議で決まってしまうと、市民は何も言えませ せん。経営改革会議の途中で、決まったことを、途中経過として市民の 前で説明して、市民の意見を吸い上げてよりよいものにしていただき たいと思います。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>中期収支見込の来年度見込みのなかでは、37 人減を見込んでおりま す。</p>
<p>総務部長</p>	<p>ネット中継については、審議会でお話させていただきました 第 1 回目の会議で、必ず審議会の委員に趣旨を伝えます。 区長報酬の検討については、このようなものも含め、諸々のものを 検討して参ります。 対話集会ですが、このことに限らず、今後は様々なもので行って いきたいということです。地域も含め検討していきたいと考えておりま す。</p>
<p>(市民⑧-2)</p>	<p>37 人の減を含めて 3 億円赤字ということですが、厳しいと思います。</p>

<p>(市民⑨-1)</p>	<p>今後税収を増やすと話もありますが、即効性はないと思います。 まずは、3 億円の赤字をどれだけ減らすかが大事だと思いますので、そういったところを検討してください。 公開条例の変更ですが、経営改革会議だけではなく、今後考えてほしいと思います。開かれた富津市ということを検討してください。対話集会もぜひお願いします。</p> <p>財政の赤字は、市長だけの責任ではないと思っています。議員も大きく関わっていると思います。財政危機を乗り切るためには、議会の皆さんにもお力添えをいただかなくてはいけない。条例化しなくてはならないような案件は、議会が中心となって働いていただかなくてはならないと思っています。</p> <p>赤字と言われますが、社会資本として、投資される市の財政には、短期に利益を得るもの、長期にまたがるものがあると思います。投資されたものが、どのような価値を持っているのか。</p> <p>人件費に関わることですが、業務の引継ぎがどうなっているのかという話がありました。人件費が質的な価値を生むかどうか。職員が自己研さんするかどうかによって、職場の円滑な動きが出てくるのではないか。職員の数を減らすということは、不賛成です。もっと市の職員に働いてもらおうと考えています。</p> <p>長期にわたる投資は、赤字になっても結構だと思っています。使われたお金の中身が問題です。中身がどうだったか、過去を振り返ってみて、勇気を持って市民に伝えてもらいたい。</p> <p>資料の 5 か年にわたる計画のなかで、歳出項目のなかのその他は、使途不明な金額です。歳出の何%占めるのか、細かいことを広報のなかで、ある程度明確に示してください。</p> <p>広報 10 月号財政特集号で、部署でどんな目的でお金を使ったのか、どんな性質にお金を使ったのか整理されています。教育費のなかで使われている人件費、消防費で使われている人件費や機材はどうなっているのか、分かるように表にしてください。来年度出てきたときに、どこがどのように改革されていたのか分かります。1 年経った後で、じっくり見させていただきたい。お願いできますか。</p> <p>改革会議を開かれますが、大学の先生は、数字や言葉のうえだけでは、富津市の山間地が多く、自然状況など分からないと思います。現地視察したうえで、改革を始めていただきたいと思います。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>資料のその他については、建物の維持補修の経費や、物を買ったり業務を委託したりする物件費となります。欄が設けられなくて恐縮でございます。</p> <p>広報等紙面も限られているなかで、十分な説明ができていません。市民の皆さまへより分かりやすい説明を心がけて参ります。</p> <p>市の予算書・決算書をお配りすることができなくて恐縮です。市役所のロビーに備え付けておりますので、ご利用いただければと思います。決算の状況について、より分かりやすくということに努めて参り</p>

<p>総務部長</p>	<p>ます。市のホームページも参考にしていただければと思います。</p> <p>改革会議では、現地を知ってから検討と考えております。ご意見ありがとうございます。第 1 回目は、現地も回っていただきます。</p> <p>災害等は、改革云々ではなく、真っ先に対応すべきこと、また安全・安心の面は、市長も力を入れております。現在も対応しておりますので、ご理解ください。</p>
<p>(市民⑨-2)</p>	<p>今年度、来年度と細かいものを出していただければ、お金の面で変わったところがあります。どんな部分に使われたのか出していただければいいんです。まとめるから分からなくなるんです。</p> <p>使ったものは分かります。隠れているものが知りたいんです。そこで財政改革が成り立っていくのではないですか。</p> <p>改革案を出されても分かりません。1 年経ったら何をしたか分かる、それを教えてください。それが分かるように資料をください。</p>
<p>(市民⑩-1)</p>	<p>今まで皆さんの顔・名前を全く知りません。知らない人もたくさんいると思います。立って答弁すべきではないかと思えます。</p> <p>有識者会議は、何で外部に頼るのですか。市民を信用していないのですか。なぜ市民の意見を具体的に吸い上げる方法を考えないのですか。</p> <p>市民の意見を言える目安箱のようなものを設けてもらえませんか。市民の意見を吸い上げることの方が大事ではないですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>市民の声を聞くところがございます。メール等でいただいているものもあります。住所・氏名をいただき、返す手段がありましたら回答も返しております。ご提言については、ありがたくいただいて、検討課題にしております。</p> <p>有識者は、全員外部の方で、市民の方々を信用していないといったことは決してありません。今までも行財政改革は、区長さんをはじめ市民の代表の方にやっていただいています。実績も上げています。信用していないわけではございません。</p> <p>今回は、抜本的な経営改革という決意の元で、5 人の方にやっていただき、皆さんにはその過程を見ていただくということで進めております。ご理解ください。</p>
<p>(市民⑩-2)</p>	<p>市役所に意見を言ってくれではなく、あなた方が聞きに来なくては駄目なんです。アイデアを、思いついたらすぐに出せるようなシステムを作ってください。</p>
<p>(市民⑪-1)</p>	<p>何で、有識者を呼ばなければならなくなったんですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>収支見込は、毎年発表しています。財政調整基金が残り少なくなってきました。近年災害等も多くなってきています。財政調整基金は、</p>

	<p>そのときのためにとっておく、また、積み増しするということである ものです。危機的であるという意識改革が必要であり、現在進めてお ります。</p> <p>今回、様々な専門家をお願いして、いろいろな意見や提言をいた だくということに基づき、作っていったというものです。</p>
(市民⑩-2)	市長や市議会ではできないのですか。
総務部長	議会にも話はします。議会は審査機関、市長は執行部の統率です。 執行部の意見、外部の意見を出し合い、提言をいただきながら進めた いと考え、設置しました。
(市民⑩-3)	自分たちではできないから、他から呼んだということですね。
総務部長	自分たちでできるもの、できないものがあると思います。様々なご 意見を聞きながら、進めていきたいと思っております。
(市民⑩-4)	資料には、5年間と書いてあります。5年の間に、市長選や市議会選 があります。市長・議員が替わり、新しい市長・市議になった場合は、 途中からやらなくてはならなくなります。また時間がかかりませんか。
市長	私の任期中に、何とかまとめていきたいと思っておりますが、新し い市長になった場合は、引き続きやっていただかなければならな いだろうと思います。
(市民⑩-5)	新しい市長と、佐久間市長の考え方が違った場合、時間がなくな ってしまいませんか。
市長	足りない状態は、私の任期中で、できるだけなくすような方策を検 討していくわけですが、全部できなくても、マイナスを直していかな ければなりません。新しい市長になった場合でも、引き続きやって いただかなくてはならないだろうと思います。
(市民⑩-6)	佐久間市長が辞めるまで、任期中に何とかするということですか。
市長	5年間の赤字を2年間でゼロにするというわけにはいきません。5年 間で赤字をなくさなくてはならない、その方法を、経営改革会議、市 民の皆さんの意見をいただきながら、また、市の執行部の考え方を進 めて行って、できるだけ早い時間にゼロに持っていこうということ でございます。
(市民⑩-7)	5年間で見ているということは、新しい市長になった方がよいのでは ないですか。途中で終わってしまいませんか。

<p>市長</p>	<p>任期はあと 2 年です。2 年間で 28 億をゼロにするのは、無理があります。来年度は 3 億の赤字をゼロに、それから先は、できるだけ早く赤字を減らしていく。私が 2 年間で全部をゼロにするのは無理がありますので、5 年間でマイナスをゼロにしていく方策をやっていきます。</p>
<p>(市民⑫-1)</p>	<p>人や、議員・市長の給料を減らして、赤字部門にブレーキをかけようということの間違いないですね。</p>
<p>総務部長</p>	<p>改革は、すぐにやらなくてはならないもの、中・長期で対応しなければならぬものがあります。27 年度の予算はすぐに編成しなくてはなりません。事務事業の見直しに取り掛かっております。 公共施設の再配置計画などを、中・長期的で考えていくという意味合いで、中・長期的なものと考えています。</p>
<p>(市民⑫-2)</p>	<p>祖父母が蓄えた財産を、子供たちが貯金を食いつぶし、お金がなくなったから孫たちが土地を切り売りし、最終的にひ孫の代で借金を徴収してやろうと聞こえます。マイナス思考的で、建設的な話がありません。 例えば空いている土地を企業誘致ですとか。会社で例えると、市長は社長、副社長、各部長ですね。営業マンに当たるのは、誰ですか。我々が選んだ議員ですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>企業誘致については、私や課長以下で携わっております。</p>
<p>(市民⑫-3)</p>	<p>削減等暗い話ばかりではなく、企業を誘致して、それによる税収を得る。過疎化の進んでいる地域では、独身の男女を集めて子どもを増やすといったところもあります。そういう努力をしてもよいのではないのでしょうか。 外部の方を呼ぶのもいいと思いますが、頭の固い人が集まって煮詰まった話をして、意味がないのではないかと思います。そこで我々が選んだ議員だと思えます。議員は、我々の代表者ですから、財政危機の間、議員を通して我々の声を吸い上げる場所を提供してください。</p>
<p>(市民⑬-1)</p>	<p>財政調整基金は、災害など不測の事態に備えると書いてありますが、もし今災害が起きてしまったら、どうなってしまうのでしょうか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>基金を取り崩し、予算に組み込んで執行します。</p>
<p>(市民⑬-2)</p>	<p>次年度不足額 3 億円とありますが、不足額のなかに、この積立金も予定されていますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>表にある基金残高で 25 年度末は、2 億円となっていますが、今年度末の見込額は、1 億 5 千万円程度です。 それを積み増しして、対応していくような財政体質にしていきたい</p>

<p>(市民⑬-2)</p>	<p>と思います。</p> <p>赤字になっている際に、積み立てをしていかなければいけないということが、数字のなかに入っていないのであれば、歳出を減らすことだけではなく、積み立てる部分も必要になってきます。そこが想定されているか分かりません。</p> <p>いつ起こるか分からない災害に対して、市に備えがないというのは、市民はとても不安です。いくら積み立てる予定ですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>今現在、金額は明確になっておりません。</p> <p>来年度 3 億という収支不足があります。これに当たり、一般財源が 110 億です。こちらで来年度当初予算の編成を第一に取り組んでおります。</p>
<p>(市民⑭-1)</p>	<p>保険税が黒字になったと、ある議員が言っていました。その 2 年前に、2%を上乗せしてくれないかとお願いされました。黒字になったらそれがなぜ返せないのですか。</p> <p>区長会の旅行を、なぜ北海道に行くのですか。もっとわきまえてください。それが本当の改革ではないですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>医療費が増加しております。今回の改革の取り組みでは、介護・国保の安定した供給という観点から検討して参ります。</p> <p>区長会の旅行について、今回の見直しのなかでは、事務事業全般という視点で取り組んで参ります。</p>
<p>(市民⑭-2)</p>	<p>区長会の旅行は、市長が言われたように地産地消ということで、青堀でやったらいいんじゃないですか。</p>
<p>(市民⑮)</p>	<p>富津市の財政力指数は、現在いくつですか。県下で何番目ですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>財政力指数は、0.939 です。県下では 7 番目です。</p>
<p>(市民⑯-1)</p>	<p>26 年度予算のなかで、企業誘致対策費として 1 億 9 千万計上されていますが、どのようなかたちで、どのような進捗状況になっていますか。</p> <p>市の行政執行のなかで、一般管理費の事務費のうち外注費はどのくらいありますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>企業誘致奨励金というかたちで、企業を誘致し、雇用につなげていきたいという趣旨で設けました。今現在、新富地区に 53 の企業が、土地を買ったり、借りたりということが決定しております。全部で 380 ヘクタールあり、97%埋まっております。</p> <p>委託の経費については、資料を持っておりません。恐縮でございます。業務委託を含めた物件費は、25 億程度です。</p>

<p>(市民⑩-2)</p> <p>総務部長</p>	<p>企業誘致対策費は、企業誘致のための奨励金で、3年間固定資産税額を、翌年度企業に交付しています。</p> <p>聖域なき財政改革ということですので、突き詰めた見直しをしてくれると思いますが、90人の職員を減らすのも、一つの手段かもしれませんが、その人たちを使って、外注に出している25億を減らすことができるのであれば、市民にとってもその方がいいと思います。27年度から31年度に発生する28億の赤字の消しこみにも役立つのではないですか。</p> <p>市役所として使っているスペースは、今の職員・部署で必ず必要なスペースですか。余っているのであれば、貸す等有効利用ができるのではないですか。</p> <p>レストランの運営・管理は今どのようなになっていますか。利用度を教えてください。</p> <p>レストランですが、有料で貸し付けております。運営は、業者がやっております。市民の方も利用できます。業務成績は把握しておりません。</p> <p>庁舎のスペースについては、職員が減ってくれば余裕が出てきますが、民間に貸すとなると検討が必要になります。</p>
<p>(市民⑩-3)</p>	<p>聖域なき財政改革ということですから、こだわりなく進めていただきたい。後で痛みを分かち合うのは市民です。市民だけが痛みを分かち合うのではなく、職員も特別職も一緒に、この財政を切り抜けていけないといけないと思います。</p>
<p>(市民⑪)</p> <p>総務課長</p>	<p>資料に、「財政再生団体になった場合」と書かれています。財政再生団体になった方がましだと聞いております。ということは、血税となる私たちのお金を大事に使うという姿勢が感じられないから、こういう意見が出ていると思います。無駄遣いの感覚がぬぐえないからだと思います。意識改革をぜひやっていただきたい。</p> <p>最後に、市長からご挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>今晚は大変遅くまでお集まりいただき、また、ご提言・ご意見賜りました。皆さま方の今いただきました意見につきまして、しっかり胸に受け止め、今後のなかで経営改革会議もあるわけですが、市の考え方のなかに入れられるもの、またいろいろ検討して経営改革会議に乗せていきたいと考えております。</p> <p>一生懸命、破たんさせないように、破たんしませんということで、今申し上げているわけですが、皆さま方にご協力・ご理解いただきながら、進めて参りたいと考えておりますので、よろしくご理解・ご協力を賜りたいと思います。</p> <p>皆さん遅くまでありがとうございました。</p>

総務課長	以上で説明会を終了させていただきます。
------	---------------------

以上